

鴨沂高校同窓会会報

第4号 ■ 1999年8月20日
京都府立鴨沂高校同窓会理事会発行
■ 連絡先 ■
京都西陣郵便局私書箱20号
TEL&FAX ■ 075-671-1067
E-mail ■ BZZ25261@nifty.ne.jp

桜の花の咲く季節に今年も母校を卒業された新しい会員を迎え、同窓会は着実に大きくなっています。

新体制になってから、はや3年になり、今秋11月14日には京都・都ホテルで3年ごとの総会が開催されます。同窓の方々との再会の歓びに加えて、考古学者として名高い同窓の猪熊兼勝氏に記念の講演をお願いしました。

同窓会の新しい方向から種々のご意見を表明でもあります。同期のなどでお誘い合わせの方々がご出席いただき

総会の正式行事のひが行われます。理事会同窓会の運営に積極的の方は、早い時点で理ただけますと幸いにて、新入会員を積極的な運営参加が重20期以降の若い方々にします。

3年前の会則改正以を目指して、この会報が増えましたことは喜送付や総会通知などのしています。従来のよ払うのみという方法でいくことが出来ません。そこで会員の皆様に年会費をご負担戴きたく思っておりますので何卒よろしくご協力下さるようお願い致します。

会長の任期も総会までのあと数ヶ月ほどとなりましたが、同窓会の新しい方向付けがなんとか出来たように感じています。総会での皆様との再会を願うとともに、同窓会の今後の力強い発展を望みます。(3期卒)

会長・荒木不二洋



近づく総会に向けて

性について会員の皆様かしていただく貴重な機会方々、クラブ同窓の方々上、是非とも多数の会員くようお願い致します。とつとして、役員のご選で候補者を選びますが、にたずさわっていただけ事等にその旨申し出てい。将来の同窓会の発展はじめとして若い方々の要と考えますのでとくには是非よろしくお願い致

後、同窓会活動の活性化など会員の皆様との接点ばしい次第ですが、会報通信費がそれと共に増加うに卒業時に入会金を支はこのような費用を賄

ごあいさつ

名誉会長・鴨沂高等学校長 小林樹啓

同窓会の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

わたくし、本年四月から校長として着任いたしました。微力ではございますが本校発展のため精一杯努力する所存でございますのでご支援の程、よろしくお願いいたします。私は鴨沂高校に勤務するのは初めてですが、過去に記念すべき思い出があります。それは昭和39年夏でした。当時私は大学の4年生で保健体育の教師を目指していました。その教師になるための第一関門である教員採用試験が鴨沂高校を会場として行われ、そして合格するという私にとっては初挑戦、初合格の記念すべき幕開きが鴨沂高校でした。私は福井生まれで、京都の高校をあまり知らなかったわけですが、「水球の鴨沂」や「由緒ある伝統校」の名声は聞いていました。そして実際に校舎や運動場を使用したのはその時が初めてでした。もうそれから35年経過しましたが西運動場のことがはっきりと記憶に残っています。今はその運動場はありませんが、御所の塀に沿った裏に細長いものでした。何故ここが記憶に残っているかともうしますと、実技試験の中でもっとも苦手としていた陸上のハードル走や三段跳びがあり、非常に苦労したからです。

このようなことで由緒ある伝統校に着任できましたのも何かの縁、頑張りたいと思っています。鴨沂高校は現在、少子化の影響もあり、生徒数は七百名余りとなりました。かつて二千名近くいた頃からみれば、実にこぢんまりした学校に様変わりしています。部活動の方も当然、生徒数減のおおりに受け停滞ぎみですが、幸いにも本年は昭和8年に建築されたプールが大改修されます。これを契機に部活動の活性化につなげたいと思いますのでよろしくご声援下さい。

設立50周年記念

鴨沂高校同窓会のご案内



下記の通り、鴨沂高校同窓会総会を開催いたします。本年の同窓会は、設立以来50年の節目にあたります。何卒、各同期の皆様方お誘い合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

★★★★★設立50周年記念 鴨沂高校同窓会総会★★★★★

- 日時■ 平成11年11月14日(日)午後5時から
午後4時半より受付を致します。
- 場所■ 京都・都ホテル 京都・東山・けあげ TEL 075-711-7111
京都市営地下鉄東西線「蹴上」駅下車徒歩2分。
- 会費■ お一人様10,000円
- 内容■ 記念講演 京都橘女子大学教授・猪熊兼勝氏(考古学)
テーマ「古代遺跡発掘余録」(3ページに猪熊氏のプロフィール)
総会議事とレセプション(ブッフエパティー)

*ご参加いただける方は同封のハガキにて9月中にご連絡賜りますようお願いいたします・切手を貼らずにお出し下さい。
<同窓会総会に関するお問い合わせは TEL&FAX 075-671-1067/E-mail BZZ25261@nifty.ne.jpまで>

鴨沂高校同窓会

理事会活動のご報告

理事長 藤野英雄



■平成11年5月9日 第3回常任理事会>鴨沂会館

1. 次期総会の講演を猪熊兼勝氏に依頼。
2. 会報の編集方針に関する検討。
3. 平成8年度～10年度の会計報告。

以上の通り、この3年間に理事会で検討し取り組んできたことを簡条書きにしてみました。会員サービスとして実施した各期に対する会員名簿の発行や宛名ラベルの提供などの事業も軌道に乗りつつあります。

永らく休眠状態であった鴨沂高校同窓会の活動が復活して早や2回目の総会を迎える年になりました。前回の平成8年11月の総会によって会則が変更され、3年ごとに総会を開催することとなり、その最初の総会となります。本紙第1面にご案内のとおり本年11月14日、京都賦上の都ホテルで開催致しますので多数ご参加下さい。

さて今年是我们の鴨沂高校同窓会の設立50周年にあたります。そしてこの半世紀の間の卒業生は第1期生から第51期生まで2万3千9百余名を数えます。しかしながら前回の総会の出席者は全会員の2%に満たず、さらに1期から20期までの卒業生が大半を占めていたというのが実状であります。

聞くところによりますと、同期会には各学年毎に活発に開催され、参加される人数も多いようですが、これは他の高校も同じ様な傾向にあるようで、同窓会と同期会の関係はこれが当然なのかと思うところです。

そこで私どもと致しましても同窓会がやらねばならないこと、それは何か、会員の皆さんがもっと活発に同期会ができるよう、その活性化につながるような事業を行う、そしてそのことが同窓会の会員の皆さん方の活動の手助けになるようにと考えてまいりました。

そのような考えをふまえて、前回の総会以降2年間、まず会員名簿の充実と管理、会報発行による会員への情報の発信など同期会を開催していただくにあたって手助けとなる事業を推進してまいりました。平成8年11月の総会以後の理事会・常任理事会の活動状況、経過を下記にご報告いたします。

- 平成8年11月17日 同窓会総会>京都・都ホテル
- 平成9年1月19日 第1回理事会>鴨沂会館
 1. 理事長・常任理事の選任。
 2. 同窓会入会金改定を検討 従来の1,500円を2,000円に。
 3. 次期総会を設立50周年記念総会として平成11年に開催することを立案計画。
- 平成9年7月20日 第2回理事会>鴨沂会館
 1. 同窓会の財政状況について
 - a. 入会金の納付は卒業生の10%に満たない。
 - b. 他に収入の道もなく、年々資金は減少の一途。
 - c. 上記の打開策として年会費の設定を検討する。
 2. (社)鴨沂会との関係について>高校同窓生の入会等。
- 平成9年11月2日 第3回理事会>鴨沂会館
 1. (社)鴨沂会代表との話し合いの結果について検討。
 - a. 評議員の鴨沂高校卒の増員を要請する。
 2. 「名簿管理センター」の設置を承認。
 3. 会報の発行について>年1回の発行を目指す。
- 平成10年1月15日 第4回理事会>鴨沂会館
 1. 「名簿管理センター運営規則」の制定。
 2. 会報「第3号」発行準備について。
 3. 会員サービスの具体的内容について。
 - a. 各期名簿の提供、宛名ラベルの提供、他。
 - b. 上記の費用等について。
- 平成10年5月24日 第1回常任理事会>鴨沂会館
 1. 次期総会の内容、経費、年会費の件など。
- 平成10年6月7日 第5回理事会>鴨沂会館
 1. 次期総会の内容。
 2. 年会費を2,000円とし平成12年度から開始する。
 3. 年会費の設定に伴い入会金は廃止する。
- 平成10年9月27日 第2回常任理事会>鴨沂会館
 1. 次期総会の細目を決定する。
 - a. 日時：平成11年11月14日(日)午後4時受付開始。
 - b. 会費：10,000円
 - c. 総会議事の他、講演会・レセプションを行う。
 - d. 他に記念行事や寄付金集めなどは行わない。

同窓会これまでの経過

結成から現在まで～

鴨沂高校同窓会は、母校新制鴨沂高校の第1回卒業式が行われた1949年3月、卒業式に引き続いて結成式が行われ誕生しました。当時の卒業生の方々にお聞きしたところでは、まさに新生・京都府立鴨沂高等学校同窓会として旧来のありかたにとられず、戦後民主主義のかけ声のもとに、若者らしい意気揚々としたスタートであったと聞いています。以来、様々な事業を手がけ、鴨沂高校同窓会の存在を社会的にも高めてきたのですが、やがて卒業生が社会人として繁忙の年代になるとともに残念ながら同窓会活動にも翳りが見え始めます。

同窓会運営の基礎となる会員名簿は、1964年に第1号が発行されていますが、増え続ける会員に運営が追いつかない状態が続くようになり、1970年頃はそれでも理事会もしつかりと組織され、財政の再建と総会の開催を行って来ました。

やがて理事会も卒業直後の若手に委ねられることとなり、総会の開催や会報の発行、名簿管理のカードによるデータベース化など、積極的な運営が行われ、1973年には第2号の総会名簿が発行されるなどの成果を生むことが出来ました。しかし、当時学生中心の理事会は、当事者の皆さんの就職などで、やがて理事会そのものが自然消滅的に崩壊してしまっただけを思い、また当時より提起され始めた「鴨沂会」との合併問題など重要な問題も多く、限界もあつたことは事実でしょう。以来、同窓会は執行機関としての理事会を選出出来ないという実質の空白の時代を迎えることを余儀なくされたのですが、この間も唯一会長として役員

の立場にあつた1期卒の秋田宗平氏の並々ならぬご苦勞により、1990年版、1995年版と総会名簿を発行して下さったことは同窓会の灯を消すことなく存続出来たと言う意味でそのご苦勞に深い感謝の意を表したいと思ひます。

約20数年に及ぶ同窓会の実質的空白を克服し同窓会を再建しようと言う動きが始まったのは1990年代も半ばになってからでした。理事会が組織されず総会が開催できない中で、会則上の任期が切れていたために会長代行として活動されていた秋田氏の呼びかけや、関東地方で活発に集まりをもたれていた会員諸氏の働きかけで1995年、同窓会再建を目指して非公式の「母校に集まる会」が母校で開催されました。これは当時連絡可能な会員約1万8千名に開催の連絡を行い、約300名が出席、その総意として同窓会の再建と総会の開催が確認されました。そして1996年に京都・都ホテルで総会が開催され、同窓会会則の一部変更や、役員を選出が行われ、新会長に3期卒の荒木不二洋氏、理事長に4期卒の藤野英雄氏が選出されました。前回、母校で開催された総会よりおよそ四半世紀ぶりの



ことでした。

以来、1期生から47期生までを網羅した理事会を中心に、もっとも重要な会員名簿の自主管理に取り組み、コンピュータによるデータベース化が完成、会報の定期的発行や会則に基づいた総会の定期開催、鴨沂会との交流問題等々、様々な問題に取り組んできました。

京都でもその存在を高く評価され自由な雰囲気の中に確固たる位置を築いてきた母校に比べ、同窓会はその時々の方々の皆様方の努力にも関わらず、設立50周年を迎えた今日、その歴史の約半分は実質的空白の歴史を刻まねばなりません。この上は二度とそのような事態に陥ることなく、会員の皆様の連絡センターとして、そして母校への愛情の集約拠点として、また貴重な人間関係の核としてしっかりとアイデンティティを確立していかなければなりません。幸い、各同期生による同期会が活発に行われているという状況もあります。今後ともよりいっそうの皆様方のご協力とご支援をお願いしたいものだと思っております。

(文責/井口 悟・常任理事19期卒)

*文中、一部、1995年版会員名簿に掲載された秋田宗平氏著の「同窓会便り」を参考に致しました。氏には紙面をもってご報告と感謝の意を表します。



<<<鴨沂高校同窓会会則>>> (抜粋)

- 第5条 本会は次の役員を置く。
 - 1 会長 1名。理事会において正会員中より選出され、任期は3年とする。会長は本会を代表する。
 - 2 副会長 若干名。正会員中より会長が委嘱する。副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は、これを代行する。
 - 3 理事 若干名。各学年ごとの正会員中より互選し、会長が委嘱する。または会長が推薦し委嘱することができる。任期は3年とし、再選を妨げない。
 - 4 監事 若干名。理事会において正会員中より選出され、会長が委嘱する。任期は3年とし、再選を妨げない。本会の会計を監査する。
- 第7条 理事長は理事の互選により選出され、理事会を召集し会務の執行を決定する。また、会長も理事会を召集することができる。ただし、理事の二分の一以上の要求がある時は理事会を開かなければならない。

<鴨沂高校同窓会会計報告>

平成8年4月1日～平成11年3月31日

支出の部		収入の部	
総会費	2,790,927	前期繰越金	12,234,562
名簿DB作成準備費	1,080,187	総会会費収入	1,800,000
名簿DB維持費	163,439	総会祝金収入	10,000
会報製作発送費	1,754,626	入会金収入	207,440
会議費	154,337	名簿筆収入	44,730
通信費	155,664	郵便貯金利息収入	1,503,128
雑費	98,413	(以下余白)	
予備費	0		
次期繰越金	9,652,267		
合計	15,799,860	合計	15,799,860

単位：円

(次期繰越金明細)

手許現金	1,297	
通常貯金残高	257,097	以上の通りご報告いたします。
定額貯金残高	9,393,873	平成11年5月9日
合計	9,652,267	会計・常任理事 木村 正

なお、本報告は監事による会計監査を終了しております。

(注) 上記報告書は紙幅の都合で3年分の各単年度報告書を合算して掲載しています。DBはデータベースの略です。

第8条 理事長は理事の中から必要数の常任理事を指名し、常任理事会を召集し、会務に関して協議しその執行にあたる。

第10条 理事会は次の事項を議決する。

- 1 会則の改変。
- 2 本会の予算、決算。
- 3 総会の開催、その他の事業計画。
- 4 役員的人事。

第11条 本会は3年ごとに総会を開くほか、必要に応じて臨時総会をひらくことがある。

第13条 理事長は理事の中より会計担当理事を指名し、本会の会計を担当させる。

- 2 本会の経費は、入会金、会費、寄付金をもってこれにあてる。
- 3 会員は入会金として金2,000円を納入するものとする。

付 則

第17条 本会則の改正は総会の承認を経る必要がある。

第18条 本会の会計年度は4月1日から翌年3月末日までとし、総会において会計報告をする。

第19条 本会則は、昭和25年5月21日より施行する。

一部改正 昭和33年10月11日

// 平成8年11月18日

以上

同期の集い・BBS。同期の集い・BBS

第1期生卒業50周年記念同期会
～49名相集う～

1期会は卒業50周年を記念して、晴天に緑眩しい5月8日、週末の午後、京都駅近くのホテルに49名が相集い夕餉の宴を持った。10年ぶりの歓談に時を忘れるばかりであった。

会合に先立ち、世界文化遺に登録された西本願寺における国宝・飛雲閣などの特別拝観地講演を企画し27名が参加、日本文化の一端に触れる機会を得た。

ホテル会場では「鴨沂新聞復刻版」展示が新聞部OB会によって行われ、協力援助に応える出席者も多く、高校時代を思い出す縁ともなった。今後は第1期同期会を「朋談会」とし、毎年の開催を期待し、午後8時前散会した。



<西本願寺にて>

<お知らせ>このコーナーは各同期会やOB会など、同窓会会員の皆さんの活動をサポートするコーナーです。同期会などの連絡や活動状況など、自由にお使い下さい。連絡などは「名簿管理センター」までお寄せ下さい。

鴨沂高校50周年総会記念講演

猪熊兼勝氏プロフィール ∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

いのくま・かねかつ 京都橘女子大学教授(考古学・有職故實) 鴨沂高校第8期卒。関西大学大学院(修士)終了。奈良国立文化研究所・研究指導部長、飛鳥藤原宮跡調査部長を経て現職。飛鳥・藤原・平城宮、欽明陵見瀬丸山古墳、藤原鎌足墓の阿武山古墳、高松塚古墳、キトラ古墳などの調査・探査に携わる。他にイースター島でモアイの発掘に従事。さらに時代祭、四天王寺ワッソなどの祭礼にも関係し、中南米、東南アジア、韓国などの調査研究も多い。

著書『飛鳥古墳を語る』、監修『イースター島の謎』など。



前回総会后、同窓会の様々な日常活動を支えるために「名簿管理センター」が設置され、事務局としての機能を果たして来ました。会員の皆様と直接つながることの多い「名簿管理センター」からこの間の活動と同窓会の現況をご報告いたします。

同窓会員の現況

昭和24年3月に鴨沂高校同窓会が結成され、本年で設立50周年を迎えました。

この間1期生から本年3月卒業の51期生まで23,968名の方々が同窓会会員として名簿に掲載されています。50年の歴史の重みを感じる数字といえるでしょう。しかし、このうち残念ながら物故された方が私どもで把握しているだけで629名おいでになります。改めてご冥福をお祈りしたいと思います。

そのような中で現在消息が掴めない方が5,000名にものぼり、センターで消息が把握出来ているのは18,339名となっています。物故者を除いた会員の把握率はおよそ78.6%で、今後この数字をあげていくことが大きな課題の一つとなります。

名簿のデータベース化とそのシステム

さて、その同窓会名簿ですが、言うまでもなく同窓会にとって名簿の充実と管理は全ての事業に優先する最大の事業です。日常の活動は全てそのためにこそあると言っても過言ではありません。同窓会では再建準備の段階から会員名簿の自主管理にいち早く着手しました。同窓会そのものが活動停止状態であったために手許に名簿の原簿が整っておらず、今後のことを考えますと人数などのスケールの面からもコンピュータによるデータベース(DB)化が必要との結論に達しました。DBのマスターになる原簿がないため、1995年版の同窓会会員名簿をマスターに使用し全員に名簿整理番号を付与して、卒業年次、同年度、氏名、旧姓、郵便番号、住所、電話番号、都道府県別、消息など、必要なデータの全てで検索する事ができるものとなりました。他に各卒業時のクラスや、特に関東地区で活発に活動されている皆さんの便宜を考え、静岡～長野～新潟以東を「関東」在住としてまとめて検索出来るようにも致しました。さらに海外居住者を別途検索出来るようにもしています。また郵便番号の7桁化も全データを個別に検索の上完了しております。

データベースの利用について

DBは同窓会の貴重な財産ですが、その内容は会員に公開されることが望ましいと考えます。しかしながらそれはまた厳重に管理されねばならない個人情報でもあります。従来、名簿の公開に関しては全会員を網羅した会員名簿を発行してきましたが、会員総数が2万3千を越え今後とも増え続けることを考えますと、経費やニーズなどを考えた場合いわゆる「総合名簿」が必要であるか否か、理事会で検討の結果、今後「総合名簿」は発行しないことに致しました。ご了承下さい。

ウィーンの森

同窓会が設立50周年を迎える。深い谷間の時期もあったが決してその間同窓生がみな眠っていたわけではない。各卒業年次毎の同期会が様々な形で行われ、様々に鴨沂高校卒業生としての人間関係を繋ぐ機会が持たれている。関東地区においては、同窓会再建に先立って活発に集まりがもたれ、「鴨沂会」の東京支部も共に活動されているという。社団法人「鴨沂会」と任意団体の同窓会では組織原則がちがすぎて性急に合併や合同などは不可能な状況だが、歴史を嗣ぐ、という意味では今後の交流など決して無関心ではおれない。すでに鴨沂卒業生も会員への道が開かれている。ともあれ先進的にこの問題に取り組んで来られた関東地区の同窓生諸氏に敬意を表したい。(銀河)

しかしながら会員名簿は同窓会が独占的に秘匿するものでもありませんし、名簿の充実には会員諸氏の支援がなければそれできません。そこで理事会では「名簿管理センター運営規則」をつくり個人情報を厳しく管理すると共に、規則に基づいて会員の皆様の同期会やクラス会などの活動を支援することを目的に、各同期生の名簿や、連絡のための宛名書きの労力を解消していただくことと「宛名ラベル」の提供をすることと致しました。ただ、この点についてはそれなりの経費が必要ですので実費をご負担願うことになっています。このサービスは実施後すでに6件の利用があり、同期会の開催に少なからずお役にたてたものと思います。

会報の発行に関して

同窓会は会員の皆様の会費でその運営が賄われています。会長始め理事・役員は全員がボランティアで専従はおりません。それぞれの貴重な時間を提供していただいている運営ではありませんが、その財産の運営状況や集めた会費の執行状況、理事会の考え方や事業計画のお知らせ、さらに会員相互の交流など、3年に一度の総会だけでは尽くすことは不可能で会報の発行は不可欠なものです。それも定期的に発行していくことで消息のわからない方の検索も可能になり、会員の皆様による紙面のご利用にも利便性が増すものと考えています。会報の定期的発行は過去にも行われていた一時期があり、会員数が増大し郵送費の経費などもバカになりませんが、理事会では不可欠の事業として毎年1回の発行を目指すことになりました。今後定期的に発行していく予定です。当面は今回号のような体裁になりますが、内容的にも充実を図っていくつもりですので、紙面のご利用と共にご支援をお願いいたします。また、「名簿管理センター」にはご覧のような会報や会誌をコンピュータで作成するノウハウがありますので、同期会などで会報を発行されるさいには是非ご利用下さればと思います。センターまでご相談下さい。



同窓会の今後

同窓会の今後につきましては会長、理事長よりご報告しておりますが、同窓会の実状と致しましては基本的に再建途上にあります。堂々たる母校の歴史に比べて、空白の歴史が長かったためもあり、今後取り組まねばならない課題は山積しています。その第一歩は財政の再建でしょう。年会費制の導入と共に事務量も増加が予想されます。引き続き名簿の充実を図り皆様の信頼される同窓会として、そのアイデンティティを確立していかなければなりません。また、専従者もなく同窓会館もありません。(鴨沂会館は目下、同窓会とは無縁の存在です。)ないないづくしの中から、同窓会のあり方や母校との関わり方などなど、一つ一つ時間をかけて解決していかなければなりません。そのためにも息の長い地道な取り組みが必要になります。全て会員の皆様方のご支援ご協力なしに出来ないことばかりです。

何卒よろしくご支援ご協力をお願いいたします。(「名簿管理センター」担当・常任理事 井口 悟・第19期卒)

■事務局通信の中でも触れましたように、同窓会では同期会やクラス会の開催にご利用いただける、同期会名簿や宛名ラベルの発行を致しております。また会報などの発行も支援しています。詳細は下記「名簿管理センター」までご連絡下さい。



■名簿管理センター連絡先■

601-8383
 京都市南区吉祥院石原長田町1-1 桂川ハイツ4-501
 TEL&FAX 075-671-1067
 E-mail BZZ25261@nifty.ne.jp